

# エネルギー環境保全マネジメント 研究部会

部会長 大島 一夫

株式会社 NTT ファシリティーズ総合研究所 取締役  
認定ファシリティマネジャー



## 基本テーマ

当部会は、企業や団体が環境への負荷の少ない健全な発展をはかっていく上で必要となる「省エネルギー」、「地球環境保全・自然環境保護・循環型社会の形成などの環境保全」をテーマとして、マネジメントの視点から調査研究を行っている（図1）。

## これまでの活動状況

2005年度からは「事業所系廃棄物処理の動向と課題」をテーマに、14事業所の事業系廃棄物処理の実態を調査分析し、抱える問題点、課題を明らかにし、解決の糸口を見出すための提言を行った。

2008年度からはCO<sub>2</sub>排出量やエネルギー消費量の削減が急がれる中、「リニューアルを視野に入れたFM領域の地球温暖化対策」をテーマに、2010年度からは省エネルギー・CO<sub>2</sub>削減をより意識して「FM領域における省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出量削減対策」をテーマに調査研究を行った。この中では、地球温暖化ガス削減目標と現状、国・自治体の規制状況、オフィスビル等における省エネルギー取り組み事例、省エネルギー技術等の調査を進めた。また、東日本大震災後の電力不足への対応状況・課題を調

査している。これらの結果をFMサイクルの各フェーズにマッピングするとともに、「ヒト、モノ、カネ、情報」での分類等を行っている。また、省エネルギーマネジメント実施度合を評価するチェックリストを作成して調査を行ったところ、省エネルギーへの取り組みが不足している組織では、体制、省エネ知識、情報共有、環境把握に改善の余地のあることが明らかになった。

調査研究にあたり、先進的取り組みを行っている企業の訪問調査、講演会の開催、他学協会への参加、JFMA他研究部会との合同部会の開催などを行っている（図2）。

## 今後の予定

エネルギー、電力需給をとりまく情勢が厳しくなる中、制度も次々と改正が行われている。一方でICTの利用、スマートコミュニティなど新たな取り組みも盛んである。これらの動向を調査し、ファシリティマネジャーの果たすべき役割について発信していく予定である。これらの活動にあたり、様々な立場からの情報・意見を反映するため、本部会の新たなメンバーを募っている。



図1 研究対象と現在のテーマ

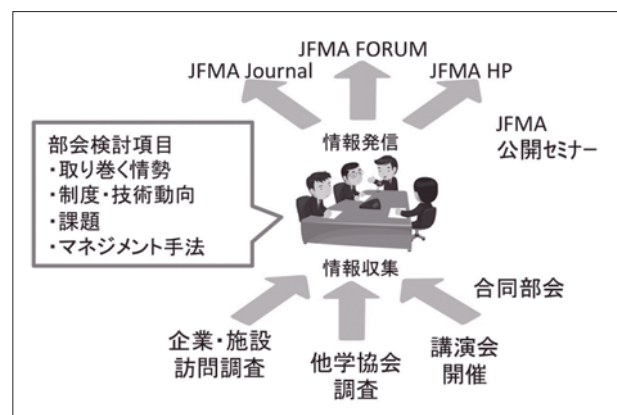


図2 活動状況